

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【こどもプロジェクト】 恵まれた地域資源の中で想像力を育む

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
1	芸術士派遣事業	<p>芸術士が本市内の公私立の保育所・こども園・幼稚園を分担し、日々の保育及び教育の中で保育士等と連携しながら、子どもたちと造形活動や身体表現等、様々な表現活動を行っています。</p> <p>芸術士は、子どもたちの無限の可能性を信じ、子どもたちの感性と創造力を最大限に引き出す手助けをし、子どもたちと社会をつなぐ架け橋として子どもたちの創造力の育成に努めています。</p>	4	決算額:34,877千円 予算額:34,877千円	派遣箇所数	<p>平成25年度 27か所 平成26年度 35か所 平成27年度 40か所 平成28年度 40か所 平成29年度 40か所 平成30年度 43か所 令和元年度 43か所 令和2年度 43か所 令和3年度 73か所 令和4年度 97か所</p>	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動報告展は中止した。	132.9%	<p>平成21年から実施している事業であるが、今後も、芸術士を保育所等へ派遣し、それぞれの芸術分野を生かしながら、子どもが持っている感性や創造力を伸ばしていけるよう導くとともに、指導方法の共有化や人材の確保に努める。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大期においては、派遣の中止を検討し、中止した場合は延期や他園への振替え等により対応する。</p> <p>派遣及び懇談会の実施に当たっては、感染防止対策の徹底に努めた上で行う。</p>	<p>平成21年から実施している事業であるが、今後も、芸術士を保育所等へ派遣し、それぞれの芸術分野を生かしながら、子どもが持っている感性や創造力を伸ばしていけるよう導くとともに、指導方法の共有化や人材の確保に努める。</p>	継続	こども保育教育課
2	0才からのコンサート	<p>0歳から3歳くらいまでの子どもとその保護者(妊婦を含む)を対象に、親子で一緒に楽しめるクラシック・コンサートの鑑賞の機会を提供し、乳幼児をもつ保護者へのひとときの安らげる時間を提供するほか、乳幼児には幼い頃から音楽に触れる機会を提供し、音楽文化の創造に関心を深めることを目的に実施します。</p>	4.17	決算額: 925千円 予算額: 1,000千円	観客数	<p>平成25年度 実績なし 平成26年度 463人 平成27年度 602人 平成28年度 559人 平成29年度 641人 平成30年度 361人 令和元年度 299人 令和2年度 404人 令和3年度 219人</p>	1公演中止(年間4公演予定) 公演日、会場を変更の上、観覧者数を制限して3公演実施した。	54.2%	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き、市民の人気の高い本事業の開催を継続しながら実施する。</p>	<p>従来から行っている申込者連絡先の把握に加え、出演者の体調管理、当日の消毒、3密回避等の対策を講じた上で、感染拡大の状況を見極めながら実施する。</p> <p>なお、できる限り観客間の距離を確保するため、収容人数の大きい施設を中心に開催する。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き、市民の人気の高い本事業の開催を継続し、より多くの市民が音楽に触れる機会を提供する。</p>	継続	文化芸術振興課
3	ものづくりふれあい教室事業	<p>小・中学生を対象に、ものづくりにチャレンジしながら、文化の創造に関心を深め、ものづくりの大切さを体験する機会を提供します。</p> <p>工芸の視点も取り入れ、子どもたちに日本の伝統文化の魅力も伝えていきます。</p>	4.17	決算額: 480千円 予算額: 480千円	参加数545人	<p>平成25年度 829人 平成26年度 861人 平成27年度 1,223人 平成28年度 1,025人 平成29年度 651人 平成30年度 760人 令和元年度 693人 令和2年度 644人 令和3年度 545人</p>	新型コロナウイルス感染症の影響により2校が中止となった。	84.6%	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、感染拡大の状況を見極めながら実施する。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、指導学校の負担を考慮し、教室のコースの回数など見直ししながら、引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。</p>	継続	文化芸術振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【こどもプロジェクト】 恵まれた地域資源の中で想像力を育む

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に対するコロナの影響内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響やコロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向性	主管課 (関係部署)
4	学校巡回芸術教室・ 能楽教室事業	小・中学生の情操教育の一助とし、健全育成に資するため、学校巡回形式で、生の優良な芸術や古典芸能を鑑賞し、体験する機会を提供します。 今後は、能楽、歌舞伎等の伝統芸能を身近に鑑賞、体験できる機会の提供(ホール公演、薪能等)についても検討していきます。	4.17	決算額:4,157千円 予算額:4,200千円	【学校巡回芸術教室】 参加者数	平成25年度 8,360人 平成26年度 7,097人 平成27年度 12,283人 平成28年度 9,876人 平成29年度 7,983人 平成30年度 9,147人 令和元年度 10,044人 令和2年度 4,739人 令和3年度 3,642人	新型コロナウイルス感染症の影響により4校が中止となった。	76.9%	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立っている。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、感染拡大の状況を見極めながら実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立っている。	継続	文化芸術振興課
						平成25年度 2,172人 平成26年度 2,965人 平成27年度 1,555人 平成28年度 3,617人 平成29年度 3,243人 平成30年度 2,650人 令和元年度 2,466人 令和2年度 1,383人 令和3年度 1,437人	なし	103.9%	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立っている。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、感染拡大の状況を見極めながら実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立っている。	継続	文化芸術振興課
5	地域密着型トッ スポーツチームの 活用	カマタマーレ讃岐等、4つの地域密着型トッスポーツチームを活用し、学校訪問や試合への無料招待等、子どもたちに直接選手等と交流できる機会を提供することで、子どもたちの向上心や創造力の育成を図ります。 平成29年度からは、香川ファイアローズの選手が施設(市内幼稚園・保育園、小・中学校など)を訪問し、交流を深めることで、広く市民にチームをPRし、ファン層の拡大や青少年の健全育成等を図ることを目的として、新たに「ホームタウン推進事業」を実施しています。さらに、30年度からは、カマタマーレ讃岐を本事業の対象とするなど、今後も、香川県やトッスポーツチームと連携を図りながら、様々な機会を通じ、より多くの子どもたちにトッスポーツチームの選手等と交流できる機会を提供していきます。	3.4.17	決算額:13,207千円 予算額:12,504千円	教室等開催回数	平成25年度 15回 平成26年度 11回 平成27年度 10回 平成28年度 7回 平成29年度 65回 平成30年度 109回 令和元年度 79回 令和2年度 44回 令和3年度 27回	新型コロナウイルス感染症の影響により、教室を開催できないチームが多く、開催回数も大幅減となった。	61.4%	地域密着型トッスポーツチームを活用し、引き続き、地域イベントや高松市民応援デー等における試合への無料招待などを実施していく。また、練習・教室使用料補助事業を通じ、地域密着型トッスポーツチームが市内におけるスクール事業の拡大に向けて取り組むなど、今後においても、子どもたちの向上心や創造力の育成を図っていくため、県や地域密着型トッスポーツチームと連携を図りながら、様々な手段を通じ、一人でも多くの子どもたちに選手等と触れ合え、夢を実現する機会を提供していく。	新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、感染防止対策を講じた上で実施する。	地域密着型トッスポーツチームを活用し、引き続き、地域イベントや高松市民応援デー等における試合への無料招待などを実施していく。また、練習・教室使用料補助事業を通じ、地域密着型トッスポーツチームが市内におけるスクール事業の拡大に向けて取り組むなど、今後においても、子どもたちの向上心や創造力の育成を図っていくため、県や地域密着型トッスポーツチームと連携を図りながら、様々な手段を通じ、一人でも多くの子どもたちに選手等と触れ合え、夢を実現する機会を提供していく。	継続	スポーツ振興課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【こどもプロジェクト】 恵まれた地域資源の中で想像力を育む

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
6	高松市美術館こどもアートスペース	平成28年3月のリニューアルに合わせて、高松市美術館内に「こどもアートスペース」を開設しました。「ふらっとアート」では気軽に制作を楽しめるプログラムをシーズン毎に企画提供し、未就学児を始め様々な世代等に親しまれる教育普及プログラムを展開します。	4	決算額:195千円 予算額:196千円	こどもアートスペース利用者数	平成28年度 1,776人 平成29年度 1,303人 平成30年度 1,765人 令和元年度 3,417人 令和2年度 3,238人 令和3年度 3,271人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館(77日間)や「こどもアートスペース」の臨時休室(6/1~6/20ほか)により、開室日数が減少した。	101.0%	引き続き「こどもアートスペース」を活用し、未就学児を始め様々な世代に親しまれる教育普及プログラムを展開していく。特に「ふらっとアート」では気軽に制作を楽しめるプログラムをシーズン毎に企画提供し、幅広い世代に楽しんでいただく予定。また、子ども向けの美術図書や絵本を自由に閲覧していただく。	万全の感染対策を取りながら、事業を継続する。	引き続き「こどもアートスペース」を活用し、未就学児を始め様々な世代に親しまれる教育普及プログラムを展開していく。特に「ふらっとアート」では気軽に制作を楽しめるプログラムをシーズン毎に企画提供し、幅広い世代に楽しんでいただく予定。また、子ども向けの美術図書や絵本を自由に閲覧していただく。	継続	美術館美術課
7	こども未来館わくわく体験事業	子どもを中心とした幅広い世代の人々の交流、子育てに係る支援並びに学習及び体験活動の場を提供することにより、子どもの夢や想像力を育むとともに、健やかな成長に資するため、遊びや科学、アートなどの体験活動を提供するイベントプログラムや親子で参加できる体験イベントなどの様々な魅力ある事業の提供に努めています。	3、4、10、17	決算額:1,605千円 予算額:2,025千円	開館記念事業としての実績: 企画事業入館者数 平成29年度~: こども未来館わくわく体験事業参加者数	平成28年度 6,694人 平成29年度 4,833人 平成30年度 5,550人 令和元年度 4,367人 令和2年度 284人 令和3年度 1,686人	実施実績について、前年度より増加しているが、イベント中止などの影響で、参加者数はコロナ前に比べて減少している。	593.7%	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、子どもの夢や想像力を育み、健やかな成長に資するような体験イベントなどを実施する。	状況に応じて判断することになるが、消毒や換気の徹底を徹底し、利用者の安全性の確保に努め、概ね実施予定である。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、子どもの夢や想像力を育み、健やかな成長に資するような体験イベントなどを実施する。	継続	こども未来館
8	子ども・子育て支援事業	みんなのひろばとブレイルームを子どもと保護者の居場所として提供するとともに、子ども・子育ての相談に対応し、子どもと親がともに育ち合う子育て支援機能とふれあい交流による多世代交流機能を果たすことを目的として実施します。	3、4、10、17	決算額:28,177千円 予算額:22,072千円	みんなのひろば・ブレイルーム利用者数	平成28年度 35,082人 平成29年度 76,597人 平成30年度 80,443人 令和元年度 73,871人 令和2年度 38,515人 令和3年度 39,675人	閉館や、定員を減らすなどの影響で、コロナ前に比べ利用者数が減少している。	103.0%	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、子どもと保護者のふれあいの場となるよう居場所提供事業を行う。	状況に応じて判断することになるが、消毒や換気の徹底を徹底し、利用者の安全性の確保に努め、概ね実施予定である。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、子どもと保護者のふれあいの場となるよう居場所提供事業を行う。	継続	こども未来館

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【こどもプロジェクト】 恵まれた地域資源の中で想像力を育む

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績(数値)に 対するコロナの影響 内容	実施実績上昇率 (前年度/前々年 度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
9	こども未来館学習 体験事業	市内の小学校4年生(ただし、学校の状況により5年生以上、学校の希望により、中学校の生徒を対象に実施できる。加えて、連携中核都市圏の小・中学校も受入れ可能。)を対象として、こども未来館の施設を利用した体験的な学習活動を通して、子どもたちの想像力と探究心を育むことで、健やかな成長に資することを目的に実施します。	3、4、 10、17	決算額:31,839千円 予算額:38,333千円	こども未来館学習実施学校数/延べ人数	平成28年度 21校/1,737人 平成29年度 54校/4,558人 平成30年度 61校/4,821人 令和元年度 61校/4,861人 令和2年度 42校/3,470人(うち、出張!こども未来館学習36校/3,146人) 令和3年度 45校/3,253人	16校が中止となった。	【学校数】 107.1% 【延べ人数】 93.7%	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、こども未来館学習を実施した学校からの意見を踏まえて、学習の課題等を検討し、学習内容の充実を図りながら実施する。	状況に応じて判断することになるが、消毒や換気の徹底を徹底し、利用者の安全性の確保に努め、概ね実施予定である。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、こども未来館学習を実施した学校からの意見を踏まえて、学習の課題等を検討し、学習内容の充実を図りながら実施する。	継続	こども未来館
10	夢みらい図書館	子ども向けの本を充実させるとともに、おはなし会や読み聞かせ、多様なイベント等を開催するなど、子どもに重点を置いた、子どもも大人も楽しく本に親しむことができる場を提供しています。	4	決算額:10千円 予算額:372千円	子ども対象イベント参加者数	平成28年度 496人 平成29年度 2,555人 平成30年度 2,684人 令和元年度 2,207人 令和2年度 1,161人 令和3年度 1,073人	休館中の行事が中止となったことにより参加者が減少した。	92.4%	子ども向けの本を、より一層充実させるとともに、定例おはなし会を継続実施するほか、今後も、こども未来館ほか関係課とも連携を図りながら、読書に親しめるような多様なイベントを開催し、子どもの読書活動の推進に取り組む。	コロナ禍における読書の有効性(黙・独)は周知のとおりである。これまでどおり、換気や手指消毒の徹底など十分な感染対策を講じた上で、座席数を減らし、間隔を空けて利用していただく。また、予約図書の受取などの活用により、図書館利用の機会を減らさずに、滞在時間を短くする方策を講じる。	子ども向けの本を、より一層充実させるとともに、定例おはなし会を継続実施するほか、今後も、こども未来館ほか関係課とも連携を図りながら、読書に親しめるような多様なイベントを開催し、子どもの読書活動の推進に取り組む。	継続	中央図書館
11	劇団四季ミュージカル「こころの劇場」	高松市において実施される劇団四季「こころの劇場」ミュージカル公演について、本市並びに瀬戸・高松広域連携中核都市圏内の児童(小学6年生)を招待します。	4.17	決算額: 0千円 予算額: 0千円	鑑賞者数	【観客数/回数】 平成25年度 4,985人/1公演6回 平成26年度 5,323人/1公演6回 平成27年度 5,362人/1公演6回 平成28年度 5,303人/1公演5回 平成29年度 4,997人/1公演5回 平成30年度 5,144人/1公演5回 令和元年度 5,211人/1公演5回 令和2年度 中止 令和3年度 3,920人/映像配信	希望する小学校に動画配信により実施した。	—	劇団が行う映像配信による公演鑑賞を実施する。	サンポートホール高松での公演を見送り、劇団が行う映像配信による公演鑑賞を実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で、公演の再開を予定している。なお、令和5年度はサンポートホール高松が休館のためレクザムホールを会場とする。	継続	文化芸術振興課